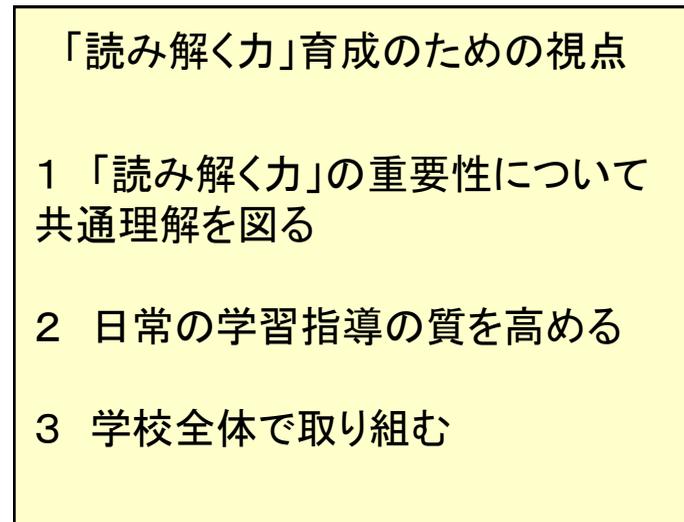
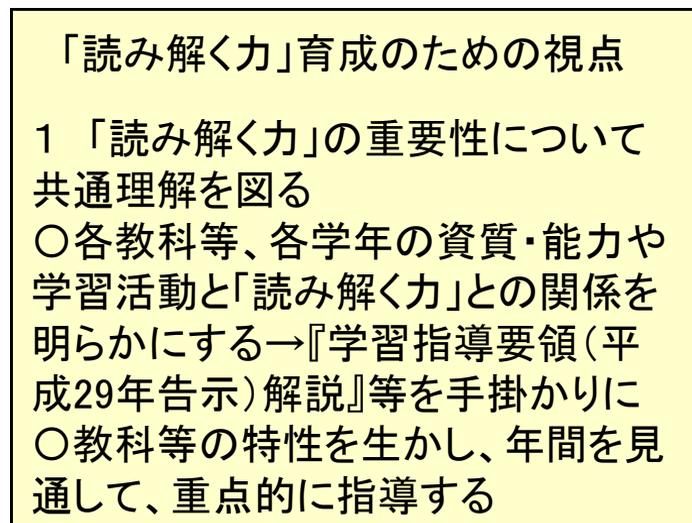


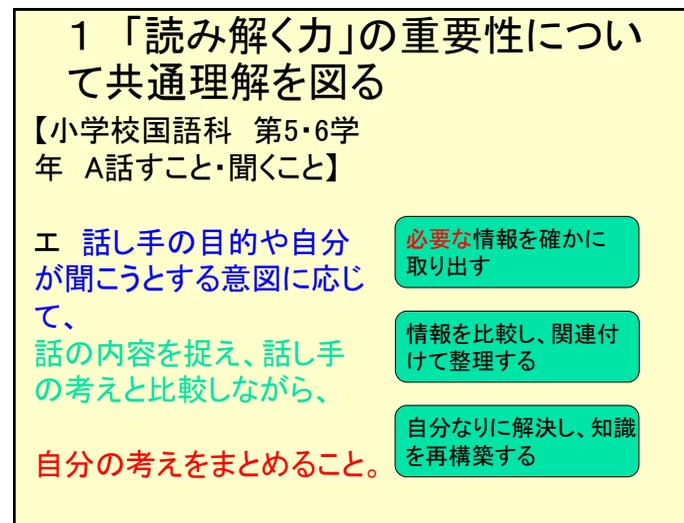
1



2



3



4

1 「読み解く力」の重要性について共通理解を図る

【小学校国語科 第5・6学年 C読むこと】

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

論の進め方について考えるとは、(中略)「事実と感想、意見などとの関係」や「文章全体の構成」などを基に、目的に応じて、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのか、どのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているのかなどについて考えをもつことである。

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編』より

5

1 「読み解く力」の重要性について共通理解を図る

【小学校国語科 第5・6学年 C読むこと】

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

目的に応じて、必要な情報を見付けるとは、書き手の述べたいことを知るために読む、読み手の知りたいことを調べるために読む、知的欲求を満たすために読む、自分の表現に生かすために読むなどの目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることである。必要な情報は、目的に応じて変わるため、読む目的を明確にすることが重要である。

7

1 「読み解く力」の重要性について共通理解を図る

○各教科等、各学年における「読み解く力」の具体例

文章や情報を正確に読み解き理解する力
相手の意図や思いを読み解き理解する力

【小学校社会科 第4学年 2内容(4)イ】

(ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

6

第6学年 単元名

「持続可能な社会」の実現について調べたことや考えたことを解説しよう

言語活動

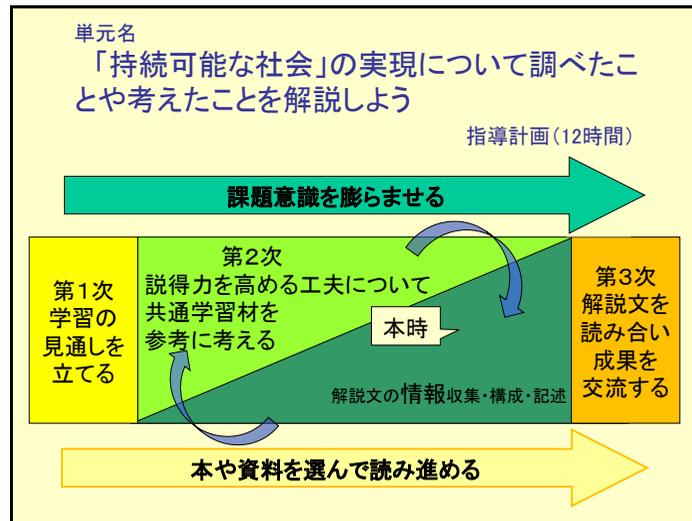
課題について情報収集し、解説文にまとめる。

【単元の主な指導目標】

自分の主張を展開する上で必要な情報を選ぶために、効果的な読み方を選択して複数の本や文章などを比べて読んだり、文章の内容を的確に押さえて自分の考えを明確にしながらか読んだりすることができる。(読むこと イ、ウ、カ)

国立教育政策研究所 小学校国語科映像指導資料
『言語活動の充実を図った「読むこと」の授業づくり』事例11(2016)

8



9

第9時

・説得力を高めるための論の進め方について共通学習材を参考にして考え、資料を活用しながら、課題解決に必要な情報を収集したり、グループで確かめ合ったりしていく。

○複数の本や文章から必要な情報が載っているものを選び、効果的な読み方を生かして、説得力を高める情報を収集することができる。

(読むことイ、力)

国立教育政策研究所 小学校国語科映像指導資料
『言語活動の充実を図った「読むこと」の授業づくり』事例11(2016)

10

「読み解く力」育成のための視点

2 日常の学習指導の質を高める

①質の高い学習過程の構築

「読み解く目的・必要性の実感」

↓

「読み解く力の獲得・活用」

↓

「読み解き再構築したことの発信」

三つのプロセス

13

「読み解く力」育成のための視点

2 日常の学習指導の質を高める

(1)質の高い学習過程の構築

2 宮原さんの学級では、身近な食べ物について疑問に思ったことを調べ、友達と紹介し合うことにしました。

平成31年度 全国学力・学習状況調査問題より

14

2 日常の学習指導の質を高める
(2) 目的や必要性を実感する交流の場の設定

事例10 第5学年

単元名

お薦めします 私の心に響いたお話

言語活動

「おすすめカード」で杉みき子作品の魅力
を推薦する。

【単元の主な指導目標】

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを交流して、広げたり深めたりすることができる。

(読むこと エ、オ)

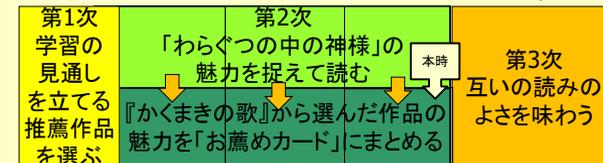
15

単元名

お薦めします 私の心に響いたお話

指導計画 (9時間)

自分の表現したい思いを膨らませる



『かくまきの歌』を先行・並行読書する

17

第8時



・自分の選んだ作品の推薦理由をグループの交流を通して検討し、「おすすめカード」にまとめる。



○登場人物の相互関係や心情、場面の描写について読み解いたことを基に、自分が選んだ作品の推薦理由をまとめることができる。

(読むこと エ)

18

子供が目的を意識できる、必然性のある交流の工夫

○指導のねらいを明確に把握することで、決まり切った答えを探すのではなく、自分の考えを創り上げられる課題を工夫する。

○単元全体のゴールを意識できるようにする。

○交流で何を求めたいのか、どんな発見を伝えたいのかを明らかにする場を作る。

19

子供が目的を意識できる、必然性のある交流の工夫

- 子供の目的や必要性に応じた、交流相手やグループ編成、交流回数を工夫する。
- ねらいに応じた交流形態を工夫する。
- 交流でどのような発話のやり取りを求めたいのか、教材研究段階で想定しておく。
- 国語科以外の各教科等の学習でも取り組む。

20

「読み解く力」育成のための視点

- 3 学校全体で取り組む
 - (1)各学校等における重点の設定
(例)
 - 小学校→重点教科を設定
2学年ごとの重点を設定
 - 中学校→各教科等の担当相互の連携の場を設定

21

「読み解く力」育成のための視点

- 3 学校全体で取り組む
 - (2)各教科・学年等における重点単元の設定
 - 年間を見通して
 - 当該単元の学習指導の質の向上に向けて、積み重ねの指導を工夫

22